

## 第2次検討ダム（先行河川）について

対象河川：モセカルベツ川（北海道）

## 1 第1回会議での意見等

## ONo.1 床固工について

- ・ 落差が問題ではなく、泳ぎ登れるようにすることが必要である。
- ・ ダム放水路を下流に向けて斜めに切る（斜路）は適切な考え方である。
- ・ 現在は、ダムを作った時より登りやすくなっているが、水が空中を飛んでいるので、伝って流れるようにすることが必要である。
- ・ 斜路の流れによりダム下のプールに反転流を作ればよい。
- ・ 今より、河床を低下させないことが重要で、ダム下のプールの存在も重要である（埋める必要はない）。
- ・ 現在の落差は高すぎる。
- ・ 斜路により落差が解消しきれない場合は、下流からの処理（石積み等）が必要かもしれない。

## ONo.1 床固工下流について

- ・ 下流にある旧道路の橋脚が左岸側に張り出しており、河床低下の原因になっていると考えられることから、できれば撤去した方が川としても良い。

## 2 主要な課題等

## ONo.1 床固工について

- ・ 落差解消のため、ダム放水路を下流に向けて斜めに切る（斜路）場合でも落差が解消しきれない場合は、下流からの処理（石積み等）が必要。
- ・ 今より、河床を低下させないことが重要で、ダム下のプールの存在も重要である（埋める必要はない）。

## ONo.1 床固工下流について

- ・ 下流にある旧道路の橋脚が左岸側に張り出しており、河床低下の原因になっていると考えられることから、できれば撤去した方が川としても良い。

### 3 現在の取り組み状況等

#### ONo.1 床固工について

- ・ダム放水路を下流に向けて斜めに切る方向で検討した結果、斜路により落差が解消しきれず、下流からの処理（石積み等）が必要となるが、No.1 床固工直下が保安林界であることから、ダム上流側に引き込み式の魚道を新設することによる改良を検討中（平面図、縦断図、参考写真を参照）。
- ・複断面放水路が濘筋を固定化しており、これに伴い下流に落差が生じていることから、河床低下防止及びダム下のプール保全のため、増水時には、複断面放水路以外にも水位が堰上がるようダム上流の過堆積物除去による河道の拡幅を検討中。

#### ONo.1 床固工下流について

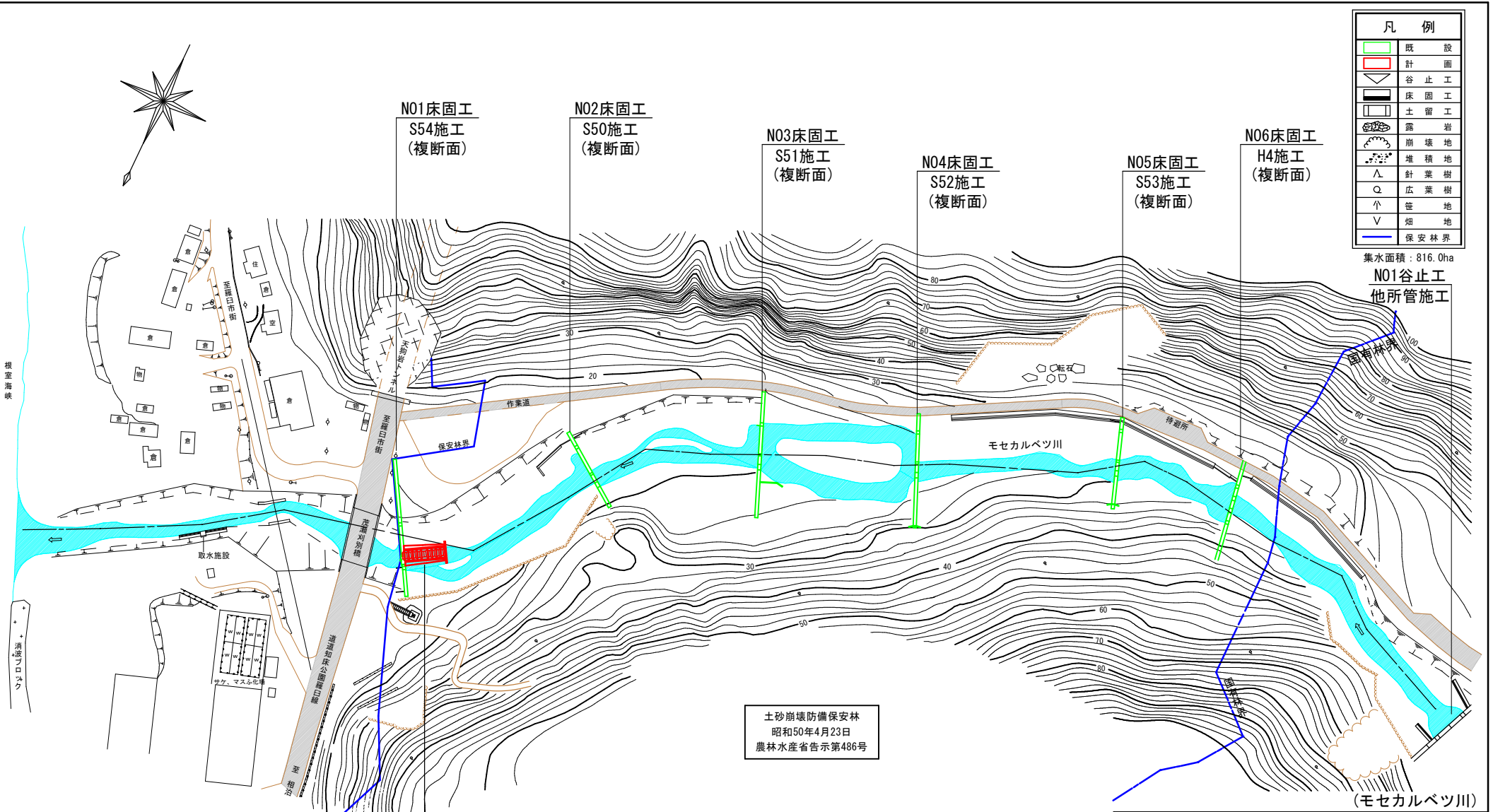
- ・橋脚については、地元要望により残すこととなったことを羅臼町に確認。



凡 例	
	既 設
	計 画
	谷 止 工
	床 固 工
	土 留 工
	露 岩
	崩 壊 地
	堆 積 地
	針 葉 樹
	広 葉 樹
	笹 地
	畑 地
	保 安 林 界

集水面積：816.0ha

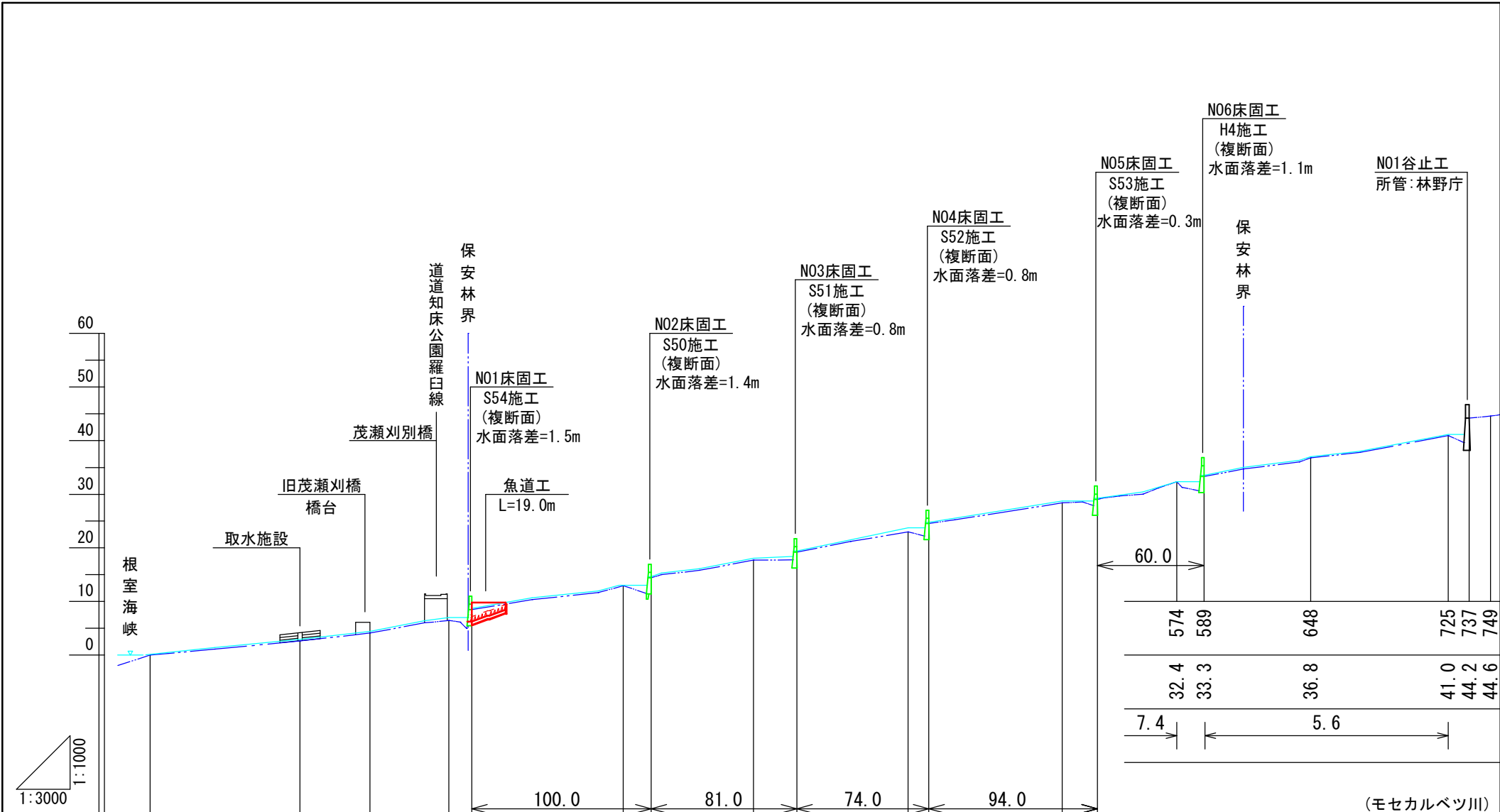
NO1谷止工  
他所管施工



土砂崩壊防備保安林  
昭和50年4月23日  
農林水産省告示第486号

魚道工  
L=19.0m

年 度	平成 27 年 度		
名 称	平 面 図		
施 行 地	目 梨 郡 羅 臼 町 岬 町		
事業細目			
事業所名	北 海 道 根 室 振 興 局		
図面番号		縮 尺	1/2500



574	589	648	725	737	749
32.4	33.3	36.8	41.0	44.2	44.6
7.4	5.6				

水平距離	m	0	84	123	167	180	264	280	337	361	424	435	510	529
垂直距離	m	0.0	2.7	4.1	6.4	8.5	12.9	14.4	17.7	19.2	23.0	24.5	28.4	29.1
勾配	%		3.9		5.2		4.2		6.0		4.8			

年度	平成 27 年度		
名称	縦断図		
施行地	目梨郡羅臼町岬町		
事業細目			
事業所名	北海道 根室振興局		
図面番号	縮尺	図示	

(モセカルベツ川)



施工イメージ